

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	4年間（2016年3月18日～2020年3月17日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資象	ベビーファンド	コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<2020-03>の受益証券
	コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<2020-03>	世界の企業が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券）および普通社債ならびに先進国の国債
ベビーファンドの運用方法	<p>①主として、マザーファンドの受益証券を通じて、世界の企業（金融機関を含みます。）が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>※金融機関についてはG-SIFIsに指定されているものとします。</p> <p>②マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態 で高位に維持することを基本とします。</p> <p>③保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。</p> <p>※保有実質外貨建資産とは、当ファンドが保有する外貨建資産およびマザーファンドが保有する外貨建資産のうち当ファンドに属するとみなした外貨建資産をいいます。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①ハイブリッド証券等の運用にあたっては、以下の点に留意します。</p> <p>イ. 投資対象とする銘柄は、取得時において投資適格（ムーディーズでBaa3以上またはS&PもしくはフィッチでBBB-以上）の格付けを有する銘柄を中心とします。なお、利回り水準や流動性を加味した上で、投資適格未満の格付けを有する銘柄にも投資します。</p> <p>ロ. 各業種のクレジット・アナリストによる個別発行体の財務分析および信用リスク分析等により、投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ハ. 投資対象銘柄の中から、繰上償還の実現性、利払いの確実性、格付見通し等のファンダメンタルズ分析を行ない、組入候補銘柄を選定します。</p> <p>ニ. 組入候補銘柄の中から、同業他社比較や相対的な割安度合い等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>ホ. 当ファンドの信託期間終了日までに満期償還される銘柄および繰上償還や買入消却等が見込まれる銘柄に投資します。</p> <p>ヘ. 組入銘柄の償還や買入消却等に伴い再投資する際は、普通社債または先進国の国債に投資することがあります。</p> <p>②外貨建資産の運用にあたっては、バイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p>③ハイブリッド証券、普通社債および国債の組入比率は、通常の状態 で高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれか多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額も含めて分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

コーポレート・ハイブリッド証券 ファンド2016-03 （為替ヘッジあり） （愛称：メジャー・カンパニーズ16-03）

運用報告書（全体版）

第4期

（決算日 2018年3月19日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-03（為替ヘッジあり）（愛称：メジャー・カンパニーズ16-03）」は、このたび、第4期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3289>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				受 益 者 回 り	公 社 債 組 入 比 率	元 残 存 本 率
	(分 配 落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 額	期 騰 落 中 率			
設 定 (2016年 3月18日)	円 10,000	円 —	円 —	% —	% —	% —	% 100.0
1 期 末 (2016年 9月20日)	10,217	110	327	3.3	6.4	93.4	98.6
2 期 末 (2017年 3月17日)	10,261	110	154	1.5	4.8	94.6	93.5
3 期 末 (2017年 9月19日)	10,376	80	195	1.9	4.5	97.6	81.8
4 期 末 (2018年 3月19日)	10,355	50	29	0.3	3.5	95.2	58.3

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

基準価額・騰落率

期首：10,376円

期末：10,355円 (分配金50円)

騰落率：0.3% (分配金込み)

基準価額の主な変動要因

当期のハイブリッド証券市場が堅調に推移したことにより、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-03（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比 率
	円	騰 落 率 %	
(期 首) 2017年 9 月19日	10,376	—	97.6
9 月末	10,380	0.0	97.5
10 月末	10,404	0.3	94.6
11 月末	10,398	0.2	95.5
12 月末	10,415	0.4	94.8
2018年 1 月末	10,416	0.4	96.2
2 月末	10,404	0.3	92.6
(期 末) 2018年 3 月19日	10,405	0.3	95.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 9. 20 ~ 2018. 3. 19)

債券市況

欧州債券市場では、ドイツの3年国債利回りは上昇しました。期首から2017年末にかけては、地政学リスクをめぐる懸念や次期F R B (米国連邦準備制度理事会) 議長にパウエル氏が指名されたことなどが債券価格の上昇要因となった一方で、米国の税制改革への期待感や株式市場の上昇などが債券価格の下落要因となったことで、レンジ推移となりました。2018年2月上旬にかけては、欧米での金融正常化に向けた懸念等から、金利は上昇しました。2月中旬から3月にかけては、米国の利上げペースを意識しつつ、緩やかに低下しました。

コーポレート・ハイブリッド証券については、リスク選好姿勢の強まりや需給面での下支えを背景に、スプレッド(国債に対する上乘せ金利)が縮小しました。E C B (欧州中央銀行) によるC S P P (社債購入プログラム) や低金利下で相対的に高い利回りを求める投資需要も引き続き相場の支援材料となり、期首から2018年1月下旬まではタイト化が進みました。2月上旬以降は、米国株式市場の価格変動の高まりを受けて、期末にかけてスプレッドは拡大傾向に転じました。

前期における「今後の運用方針」**当ファンド**

「コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>」の受益証券組入比率は高位を維持し、為替変動リスク低減のために為替ヘッジを行いません。

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>

世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。外貨建資産の運用にあたっては、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

ポートフォリオについて

（2017. 9. 20 ～ 2018. 3. 19）

■当ファンド

「コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>」の受益証券組入比率は、期を通じておおむね100%程度を維持し、為替変動リスク低減のために為替ヘッジを行ないました。

■コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>

主として、世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。外貨建資産の運用にあたっては、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は50円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における純資産額の元本超過額42,157,515円が、経費控除後の配当等収益20,322,143円を超過しているため、純資産額の元本超過額42,157,515円（1万口当り405.07円）を分配対象額として、うち5,203,730円（1万口当り50円）を分配金額としております。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き「コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>」の受益証券組入比率を高位に維持し、為替変動リスク低減のために為替ヘッジを行ないます。

■コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>

引き続き、世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。外貨建資産の運用にあたっては、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 9. 20~2018. 3. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	76円	0. 728%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10, 402円です。
(投 信 会 社)	(41)	(0. 391)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(33)	(0. 321)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0. 023	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0. 018)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	78	0. 751	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年9月20日から2018年3月19日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>	—	—	408,659	466,000

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	評 価 額	□ 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>	1,353,758	945,098	945,098	1,058,605

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年3月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>	1,058,605	95.7
コール・ローン等、その他	47,671	4.3
投資信託財産総額	1,106,276	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=105.93円、1イギリス・ポンド=147.67円、1ユーロ=130.00円です。

(注3) コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>において、当期末における外貨建純資産(4,298,543千円)の投資信託財産総額(4,327,702千円)に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年3月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,184,377,553円
コール・ローン等	16,547,510
コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>> (評価額)	1,058,605,202
未収入金	1,109,224,841
(B) 負債	1,106,677,705
未払金	1,078,168,044
未払収益分配金	5,203,730
未払解約金	15,238,841
未払信託報酬	8,014,319
その他未払費用	52,771
(C) 純資産総額 (A - B)	1,077,699,848
元本	1,040,746,063
次期繰越損益金	36,953,785
(D) 受益権総口数	1,040,746,063口
1万口当り基準価額 (C / D)	10,355円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,355円です。

■損益の状況

当期 自2017年9月20日 至2018年3月19日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 3,119円
支払利息	△ 3,119
(B) 有価証券売買損益	89,585,004
売買益	158,955,872
売買損	△ 69,370,868
(C) 有価証券評価差損益	△ 77,298,064
(D) 信託報酬等	△ 9,637,914
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	2,645,907
(F) 前期繰越損益金	55,018,284
(G) 解約差損益金	△ 15,506,676
(H) 合計 (E + F + G)	42,157,515
(I) 収益分配金	△ 5,203,730
次期繰越損益金 (H + I)	36,953,785

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注4) 収益分配金の計算過程は5ページをご参照ください。

(注5) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用:2,471,046円(未監査)

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 （ 税 込 み ）	50円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>

運用報告書 第4期 (決算日 2018年3月19日)

(計算期間 2017年9月20日～2018年3月19日)

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>の第4期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	世界の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債および優先証券)および普通社債ならびに先進国の国債
運用方法	<p>①主として、世界の企業(金融機関を含みます。)が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。 ※金融機関についてはG-SIFIsに指定されているものとします。</p> <p>②ハイブリッド証券等の運用にあたっては、以下の点に留意します。</p> <p>イ、投資対象とする銘柄は、取得時において投資適格(ムーディーズでBaa3以上またはS&PもしくはフィッチでBBB-以上)の格付けを有する銘柄を中心とします。なお、利回り水準や流動性を加味した上で、投資適格未満の格付けを有する銘柄にも投資します。</p> <p>ロ、各業種のクレジット・アナリストによる個別発行体の財務分析および信用リスク分析等により、投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ハ、投資対象銘柄の中から、繰上償還の実現性、利払いの確実性、格付見通し等のファンダメンタルズ分析を行ない、組入候補銘柄を選定します。</p> <p>ニ、組入候補銘柄の中から、同業他社比較や相対的な割安度合い等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>ホ、当ファンドの信託期間終了日までに満期償還される銘柄および繰上償還や買入消却等が見込まれる銘柄に投資します。</p> <p>ヘ、組入銘柄の償還や買入消却等に伴い再投資する際は、普通社債または先進国の国債に投資することがあります。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p>④ハイブリッド証券、普通社債および国債の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	無制限

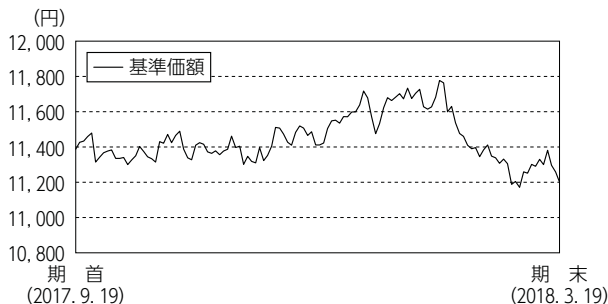
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
	円	%	
(期首) 2017年9月19日	11,388	—	96.0
9月末	11,377	△ 0.1	97.1
10月末	11,327	△ 0.5	96.0
11月末	11,405	0.1	94.8
12月末	11,599	1.9	94.1
2018年1月末	11,627	2.1	96.4
2月末	11,305	△ 0.7	94.3
(期末) 2018年3月19日	11,201	△ 1.6	96.9

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首: 11,388円 期末: 11,201円 騰落率: △1.6%

【基準価額の主な変動要因】

当期のハイブリッド証券市場は堅調に推移しましたが、ユーロ安円高の進行により、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○債券市況

欧州債券市場では、ドイツの3年国債利回りは上昇しました。期首から2017年末にかけては、地政学リスクをめぐる懸念や次期FRB(米国連邦準備制度理事会)議長にパウエル氏が指名されたことなどが債券価格の上昇要因となった一方で、米国の税制改革への期待感や株式市場の上昇などが債券価格の下落要因となったことで、レンジ推移となりました。2018年2月上旬にかけては、欧米での金融正常化に向けた懸念等から、金利は上昇しました。2月中旬から3月にかけては、米国の利上げペースを意識しつつ、緩やかに低下しました。

コーポレート・ハイブリッド証券については、リスク選好姿勢の高まりや需給面での下支えを背景に、スプレッド(国債に対する上

乗せ金利)が縮小しました。ECB(欧州中央銀行)によるCSP(社債購入プログラム)や低金利下で相対的に高い利回りを求める投資需要も引き続き相場の支援材料となり、期首から2018年1月下旬まではタイト化が進みました。2月上旬以降は、米国株式市場の価格変動の高まりを受けて、期末にかけてスプレッドは拡大傾向に転じました。

○為替相場

ユーロ円相場は下落(円高)しました。

期首から2017年12月上旬にかけては、方向感のない取引となりました。12月半ば以降は、ECB政策委員が量的金融緩和の終了に言及したことなどから、ユーロ円は上昇しました。しかし、2018年2月上旬に米国株式市場が急落するなど、市場のリスク回避姿勢が高まる中で、ユーロ円は下落傾向となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。外貨建資産の運用にあたっては、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

◆ポートフォリオについて

主として、世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。外貨建資産の運用にあたっては、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託しています。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

引き続き、世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。外貨建資産の運用にあたっては、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

■1万口当りの費用の明細

項目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	2 (2) (0)
合 計	2

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2017年9月20日から2018年3月19日まで)

		買付額		売付額	
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカ・ドル —	千アメリカ・ドル 110 (—)	
	イギリス	社債券	千イギリス・ポンド —	千イギリス・ポンド 1,171 (—)	
	ユーロ (オランダ)	社債券	千ユーロ —	千ユーロ 1,582 (800)	
	ユーロ (フランス)	社債券	千ユーロ —	千ユーロ 3,961 (—)	
	ユーロ (イタリア)	社債券	千ユーロ —	千ユーロ 558 (—)	
	ユーロ (オーストリア)	社債券	千ユーロ —	千ユーロ 1,152 (1,128)	

		買付額		売付額	
外 国	ユーロ (その他)	社債券	千ユーロ —	千ユーロ 1,289 (—)	
	ユーロ (ユーロ通貨計)	社債券	千ユーロ —	千ユーロ 8,544 (1,928)	

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。
 (注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年9月20日から2018年3月19日まで)

当			期		
買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
			Electricite de France SA (フランス)	4.25% 永久債	99,354
			Vonovia Finance BV (オランダ)	4.625% 2074/4/8	98,529
			Engie (フランス)	3% 永久債	96,830
			Orange SA (フランス)	4.25% 永久債	92,944
			OMV AG (オーストリア)	6.75% 永久債	88,034
			Solvay Finance SA (フランス)	4.199% 永久債	86,461
			Barclays Bank PLC (イギリス)	14% 永久債	79,870
			Enel SpA (イタリア)	5% 2075/1/15	74,585
			Telekom Austria AG (オーストリア)	5.625% 永久債	66,254
			Societe Generale SA (フランス)	9.375% 永久債	61,623

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) 単位未満は切捨て。

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期			組入比率	うちBB格 以下組入 率	末		
		評 価 額		残存期間別組入比率			5年以上	2年以上	2年未満
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額						
アメリカ	千アメリカ・ドル 2,772	千アメリカ・ドル 2,823	千円 299,137	% 7.0	% 1.8	% 7.0	% —	% —	
イギリス	千イギリス・ポンド 4,650	千イギリス・ポンド 4,913	725,562	16.9	6.6	16.9	—	—	
ユーロ (オランダ)	千ユーロ 4,927	千ユーロ 5,123	666,097	15.5	3.8	15.5	—	—	
ユーロ (フランス)	千ユーロ 10,549	千ユーロ 11,181	1,453,655	33.8	9.4	33.8	—	—	
ユーロ (イタリア)	千ユーロ 2,449	千ユーロ 2,607	338,938	7.9	—	7.9	—	—	
ユーロ (オーストリア)	千ユーロ 1,541	千ユーロ 1,551	201,680	4.7	—	4.7	—	—	
ユーロ (その他)	千ユーロ 3,596	千ユーロ 3,715	483,003	11.2	—	11.2	—	—	
ユーロ (小計)	千ユーロ 23,062	千ユーロ 24,179	3,143,376	73.1	13.2	73.1	—	—	
合 計	—	—	4,168,076	96.9	21.6	96.9	—	—	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売相場の中値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
アメリカ	CLP Power HK Finance Ltd	社債券	4.2500	千アメリカ・ドル 1,529	千アメリカ・ドル 1,542	千円 163,389	永久債
	Credit Agricole SA	社債券	8.3750	520	560	59,352	永久債
	SK E&S Co Ltd	社債券	4.8750	723	721	76,395	永久債
	通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄		2,772	2,823	299,137
イギリス	Barclays Bank PLC	社債券	14.0000	千イギリス・ポンド 948	千イギリス・ポンド 1,081	159,735	永久債
	RWE AG	社債券	7.0000	1,200	1,250	184,673	永久債
	Veolia Environnement SA	社債券	4.8500	1,100	1,102	162,856	永久債
	Credit Agricole SA	社債券	7.5890	750	816	120,571	永久債
	Societe Generale SA	社債券	8.8750	652	661	97,726	永久債
	通貨小計	銘柄数 金 額	5銘柄		4,650	4,913	725,562

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千ユーロ	千円	
ユーロ (オランダ)	Telefonica Europe BV	社債券	6.5000	1,300	1,341	174,436	永久債
	Telefonica Europe BV	社債券	4.2000	1,200	1,270	165,149	永久債
	Vonovia Finance BV	社債券	4.6250	1,200	1,248	162,314	2074/04/08 永久債
	Koninklijke KPN NV	社債券	6.1250	1,227	1,263	164,196	永久債
	国小計	銘柄数 金 額	4銘柄		4,927	5,123	666,097
ユーロ (フランス)	Electricite de France SA	社債券	4.2500	3,000	3,180	413,435	永久債
	Engie	社債券	3.0000	1,400	1,443	187,694	永久債
	Veolia Environnement SA	社債券	4.4500	900	903	117,403	永久債
	Solvay Finance SA	社債券	4.1990	1,249	1,300	169,032	永久債
	BNP Paribas SA	社債券	7.7810	500	510	66,376	永久債
	Societe Generale SA	社債券	9.3750	1,600	1,808	235,168	永久債
	Orange SA	社債券	4.2500	1,900	2,034	264,544	永久債
国小計	銘柄数 金 額	7銘柄		10,549	11,181	1,453,655	
ユーロ (イタリア)	Enel SpA	社債券	6.5000	1,227	1,289	167,637	2074/01/10
	Enel SpA	社債券	5.0000	1,222	1,317	171,301	2075/01/15
国小計	銘柄数 金 額	2銘柄		2,449	2,607	338,938	
ユーロ (オーストリア)	OMV AG	社債券	6.7500	1,541	1,551	201,680	永久債
国小計	銘柄数 金 額	1銘柄		1,541	1,551	201,680	
ユーロ (その他)	Origin Energy Finance Ltd	社債券	4.0000	1,237	1,294	168,289	2074/09/16
	Royal Bank of Scotland Group PLC	社債券	3.6250	1,244	1,280	166,500	2024/03/25
	AMERICA MOVIL SA de CV	社債券	5.1250	1,115	1,140	148,214	2073/09/06
国小計	銘柄数 金 額	3銘柄		3,596	3,715	483,003	
通貨小計	銘柄数 金 額	17銘柄		23,062	24,179	3,143,376	
合 計	銘柄数 金 額	25銘柄				4,168,076	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>

■投資信託財産の構成

2018年3月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	4,168,076 千円	96.3 %
コール・ローン等、その他	159,626	3.7
投資信託財産総額	4,327,702	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月19日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=105.93円、1イギリス・ポンド=147.67円、1ユーロ=130.00円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(4,298,543千円)の投資信託財産総額(4,327,702千円)に対する比率は、99.3%です。

■損益の状況

当期 自2017年9月20日 至2018年3月19日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	133,216,974円
受取利息	133,318,656
支払利息	△ 101,682
(B) 有価証券売買損益	△ 195,635,734
売買益	10,962,285
売買損	△ 206,598,019
(C) その他費用	△ 976,995
(D) 当期損益金 (A+B+C)	△ 63,395,755
(E) 前期繰越損益金	756,140,407
(F) 解約差損益金	△ 231,818,024
(G) 合計 (D+E+F)	460,926,628
次期繰越損益金 (G)	460,926,628

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年3月19日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,327,702,842円
コール・ローン等	35,164,756
公社債 (評価額)	4,168,076,341
未取利息	124,223,436
前払費用	238,309
(B) 負債	28,000,641
未払解約金	28,000,000
その他未払費用	641
(C) 純資産総額 (A-B)	4,299,702,201
元本	3,838,775,573
次期繰越損益金	460,926,628
(D) 受益権総口数	3,838,775,573口
1万口当り基準価額 (C/D)	11,201円

* 期首における元本額は5,447,957,549円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は1,609,181,976円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-03 (為替ヘッジあり) 945,098,833円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-03 (為替ヘッジあり) II 222,534,114円、コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-07 (為替ヘッジあり) 2,671,142,626円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,201円です。